

令和2年 第2回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和2年6月24日(水)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>四 女性の登用について</p> <p>知事部局では、本庁課長級以上の職にある女性職員の割合について10%の目標を掲げ、また、道教委では、校長、副校長、教頭15%、事務局等職員については、12%とする目標を掲げ、女性の登用を進めるとしてありますが、道の管理職の登用率は実に、全国で下から3番目となっています。</p> <p>まず、これまでの女性の登用率の推移はどうなっているのか。また、様々な課題への対応を充実させ、目標を見直し、女性登用を加速すべきと考えますが、知事にお伺いするとともに、道教委においても更なる高みの目標を掲げ、積極的に取り組んでいくべきと考えますので、教育長の見解を伺います。</p>	<p>(知事)</p> <p>女性職員の登用についてであります。知事部局における本庁課長級以上の女性職員の割合は、8%とする数値目標を定めた平成27年度の5.2%から、本年4月には8.6%へと着実に増加しているものの、他都府県と比べると登用率は低い状況にあり、一層の登用を進めていくことが重要であります。</p> <p>本年3月に策定した「北海道特定事業主行動計画」においては、課長級以上の登用率について、数値目標を10%に引き上げるとともに、係長級以上の女性職員の割合を20%とする目標を新たに設定し、将来の登用に向けた裾野の拡大にも重点を置いたところであります。</p> <p>道といたしましては、令和6年度までを期間とする行動計画に基づき、今後とも、女性職員がライフステージの変化に柔軟に対応しつつ職務上の経験を積み、意欲と能力を活かし働き続けられる環境づくりを進めるとともに、キャリア形成など中長期的視点に立った人材育成を図りながら、女性登用の推進に取り組んでまいります。</p>